

私とロータリー

寄稿

私が安城ロータリークラブに入会させて頂いたのは昭和46年4月なので、ロータリー歴は今年で39年を過ぎ、年齢も満80歳になります。入会以来、多くの先輩方に教えて頂いて成長して来ました。今回は、このうち、懐かしい2人の先輩について思い出を記します。最初の平岩信三先輩は

安城ロータリークラブ広報委員長

勝見 乙平



先輩ロータリアンの教訓に感謝

大正2年のお生まれで、るべきで、そのムード作ものです。後に「そのよ 第23代会長です。ロータ暫く前に退会されましりが会長の使命である」うな時のために、常に2 リーに関する規約その他た。当クラブ第8代の会が持論でした。遊びとい 3題分は準備しているに精通されていることであ長ですが、「ロータリーはう言葉が苦になってお聞 のです」とお聞きし、以有名でしたが、暫く前に遊びの世界である。遊びきしたところ「車のハン後、私もそのように心掛 退会されました。先生にの世界であれば楽しくあ ドルの遊びですよ」と言けるようになりました。 教えられて、私も、3年

われて納得しました。 また先生は卓話の名手 として有名で、卓話者 が突然欠席した時のピン チヒッターに何度も立た れましたが、実にスムーズなお話ぶりで感心した

蔭に隠された努力の尊さ 全書のような本です)を を知った訳で、この考え 毎回購入して通読する習 方は、人生全般に対して 慣が付きました。ただし、 極めて有用でした。 知識はなるべく表に出さ ず、何か事があった時に 正11年のお生まれで、私 お役に立てれば良い、と の8歳年上、当クラブの 心掛けております。